

## 江田島市国際交流協会設立趣意書

今日、世界は目覚ましい社会・経済の発展により、高度情報化社会をもたらし、あらゆる分野において急速なグローバル化、ボーダレス化が進展しています。

そして、諸外国との交流も従来の国家間レベルから、都市レベル、地域レベル、市民レベルへと広がりを見せ、その内容も多種多様化しています。

本市においては、外国人市民が年々増加し、世界20か国近くから700人を超える外国人市民が居住し、外国人市民の人口は、本市人口比で約3%と県内トップクラスの数字となっています。

少子高齢化、人口減少が進む本市にとっては、外国人市民の増加は、経済や地域の発展に大変重要な役割を担っています。

多くの自治体では、それぞれの特色を生かした外国人市民との交流を始め、地域で共生していく多文化共生社会の取組を進めています。

本市においても、外国人市民と日本人市民が共生していくため、国籍、民族、習慣、異文化等の違いを理解、尊重し、お互いが思いやりを持って、地域社会に根ざした交流を進めていかななくてはなりません。

多様な交流の場を創出し、外国人市民と日本人市民が共に生きていく多文化共生社会の実現を目指して、本協会を設立するものです。

平成30年10月 吉日

江田島市長

あきおか しゅうさく  
明 岳 周 作